

# 西ボラ・かわらばん

発行 西区ボランティアセンター

〒733-8535 広島市西区福島町二丁目24番1号広島市西区社会福祉協議会内

Tel (082) 294-0104 Fax (082) 291-7096

E-mail [nishi@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:nishi@shakyohiroshima-city.or.jp)

ホームページ <http://www.shakyo-hiroshima.jp/nishi>

あけましておめでとうございます  
今年もよろしくお願いいたします

2012.1



## ボランティア交流会のご案内

寒い冬、じっとしていたら身も心もカチコチになりそう。みんなでつどって身体と口を動かし、心身ともにほぐしましょう。

ボランティア活動中の方も、ボランティアに関心のある方もつどって知り合っ  
て、絆を深めてみませんか？

日時	平成24年2月13日(月) 13:40~15:40
場所	西区地域福祉センター 3階大会議室
内容	情報交換、フォークダンスなど
対象	ボランティアに関心のある方
参加費	無料
共催	西区ボランティアグループ連絡会 西区ボランティアセンター利用者連絡会 西区社会福祉協議会



### ◆ 災害ボランティア研修会

～東日本大震災における

「災害ボランティアセンター」から学ぶ～

日時 2012年2月6日(月) 14:30~17:00

場所 広島県情報プラザ 2階第1研修室  
(中区千田町3-7-47)

内容 ①東日本大震災、各地の災害ボランティアセンターについて

②「岩沼市災害ボランティアセンター」から「岩沼市復興支援センタースマイル」へ

対象 災害ボランティア活動に関心のある方

災害ボランティアセンターの運営に関心のある方

定員 50名

その他 参加費：無料 持参物 筆記用具

申込・問合せ 広島市社会福祉協会 ボランティア情報センター (Tel.544-3399)

※西区社会福祉協議会でもかまいません

### サンタクロースに扮して

「男のつどい」に子育て支援センターからサンタクロース役の依頼があり、大役を引き受けました。控室でサンタに扮しながら43年前に子どもに今晚寝る時、枕の横に靴下を置いて寝ると知らないうちにサンタさんが来て何か好きなものを入れてくれているよと教えたことがある。

翌朝、サンタさんいつ来たんかねと云いながら靴下の中を見て喜んでいたことを思いだし、今日集まっている子ども達はいつまでサンタクロースの存在を信じ続けることだろうか…。

いよいよ出番の時が来た。生まれて初めて演じるサンタクロース、子供達は喜んでくれるかなと胸をわくわくさせながら子ども達の待つ会場へ鈴を鳴らしサンタとトナカイが入場した。ビックリ可愛子ども達、そして保護者、70組による会場が割れんばかりの歓迎の拍手でした。今日はサンタ役を引き受けて良かったと一瞬思った。プレゼントの手渡しが始まると近づいてきて白いふわふわひげにさわる子、ジーっと見つめる子、泣き出す子、お母さんの胸に抱きついて顔を伏せる子、様々であったが子ども達と一緒に楽しいクリスマス会ができ嬉しく思っています。

又、短時間での進行がスムーズに行ったことは、保護者を始め子育て支援センターの方々のチームワークの良さがあったからこそと思います。

この度のこの様な会に参加させて頂きありがとうございました。感謝、感謝。  
「男のつどい」長谷川

サンタはな、  
500歳(?)でな、  
フィンランドから  
来たんじゃないよ。



# ボランティア講座の成果

## 「ボランティアきっかけ講座」

### ボランティア「きっかけ講座」を受講して

講座を受講して本当によかったです。それはまず、高齢者や障がい者に対する介護・支援サービスの今の社会状況を知ることができたこと、相手の立場にたって考えることの大切さや、ボランティア活動の仲間や相手の方の良い所を見つけてそこから学んでいくことの大切さ、人の話にじっと耳を傾けて聞くことの大切さを学びました。

そして、最初はただ漠然とボランティア活動をしたいという思いから「きっかけ講座」に参加しましたが、この「きっかけ講座」を受けていくうちに私は、ボランティア活動を通して誰かの役に立ちたい、お互いが支え合っていける世の中になるために自分もその一人になりたいと思うようになりました。

またいろんな人との人間関係を通して自分自身の感性を豊かにし、人に思いやりの持てる人間になりたいと思うようになりました。

今はまだどのボランティア活動に参加するかは決めていませんが、いろんな所に参加して、自分には何が出来るのか、自分がやりたいものが何なのかをこれから見つけていきたいと思っています。

そしてこれからのボランティア活動の中で温かな心と思いやりの心、助け合いの精神を自分自身の中で育んでいきたいと思えますし、そういう心をずっと持ち続けられる生き方をしていきたいと思えます。また自分の仕事の中でもそのことを忘れずに利用者さんと接していきたいと思えます。

ボランティア活動をする上で一番大切なことは、自分自身を変えていくことこれが大事なことでないかと「きっかけ講座」を受けてそう思いました。  
中村

### 中途視覚障害者の集い『カナリアの会』25周年にあたって

私は47歳のとき失明し、苦しみや悲しみ、途方もない不安の中で1年半あまり家に閉じこもっていました。そんなある日、福祉センター（現中広会館）に行き、相談したことをきっかけに、点字を学習し、その関わりの中から同じ病から失明した仲間と知り合うことができました。仲間の存在がどんなに勇気と希望になったかわかりません。その仲間と始めた『中途視覚障害者の集い』が発展し、現在の「中途視覚障害者の集い『カナリアの会』」となったのです。

去る12月6日（火）には25周年記念大会を開催し、多くの会員の皆様の出席の下、講演会やマジックショーなどがあり、最後には会員同士で会への思いを語り合いました。

改めて、会員やボランティアの皆様のご理解と温かいご支援・ご協力がなかったら、こんなに続けることはできなかつたと痛感するとともに、深く感謝申し上げます。

振り返ってみれば、当時相談を聞いてくださった社協職員の方のご協力と熱意なくしては今日があるとは考えられません。

本当にありがとうございました。  
代表 西田

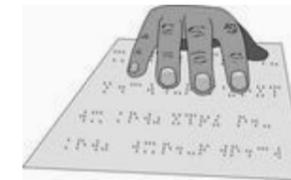
### 介護マーク普及を推進

静岡県の大村慎一副知事は13日、厚生労働省を訪れ、外出先で認知症や障害のある人を介護していることを知らせる「介護マーク」の全国普及を求める要望書を藤田一枝政務官に手渡した。藤田政務官は「周知を図りたい。（デザインは）統一のほうがいい」と述べ、同省として普及を進めていく考えを示した。

介護マークは同県が今年4月に全国で初導入。介護者がトイレに付き添う場合など誤解を避けたいときに「介護中」と書かれたカードを首から下げる。他の一部自治体にも導入の動きがあり、認知症の家族団体はデザイン統一を求めている。（12月14日付・日経新聞掲載文より）

12月9日の「男のつどい」定例会に於いて、現在支援活動のなかで、誤解を招くケースがある。会員から何か良い方法がないか、問題提起があった。広島市に対して、「介護マーク」導入を働き掛ける方法を西区ボランティアグループ連絡会とも相談の上、方策を探ることを提案したく思います。

尚、認知症以外の障がい者の「表示マーク」は障がい者団体並びに関係団体との話し合いをして決めることは論を待たない。車イス介助、手引き介助等は第三者に見て判別できるが、判別の困難な介助支援もある。それらを中心に考えなくてはならない。  
「男のつどい」一同



## 「点字ボランティア養成講座」

### 点訳ボランティア養成講座を終えて

点訳はルールがたくさんあり難しい～というのが、最初の印象でした。が、その反面、学べば学ぶほどに（回数を重ねるごと）、理解が深まり達成感や面白さが増してきました。

点字盤を用いて6点の組み合わせで文字・数字・ローマ字・記号など決められたルールの中で全て表します。

毎回の宿題では、ルールの多さ、複雑さに悩まされ、テキストや辞書をめくってばかりでした。そして、その宿題を楽点会の皆さんに丁寧にチェックしていただき、点訳のアドバイスやコツを教えて頂き、とても勉強になりました。お陰で自分の間違いやうろ覚えのところも正しく理解し、次へ進むことができました。

今までなにげなく見ていた点字ですが、この講座をきっかけに意識するようになり、点字に対する意識・認識が随分変わってきました。講座のみで終わるのではなく、これからもたのしみながら続けていきたいと思えます。  
山根

## 精神保健福祉ボランティア養成講座のご案内

人と人との関係が希薄になっている社会の中で、心の不調を訴える人は少なくありません。また、心の病は周りから理解されにくいことも多く、地域社会の中で孤立しがちと言われています。心の病について理解し、同じ地域社会に生活しているものとして何ができるのかを考えるきっかけにしてみませんか？

	日時	内容	講師等
第1回	2月1日(水) 10:00~12:00	「心の病について」	草津病院 精神科医 矢田 博己 氏
第2回	2月8日(水) 10:00~12:00	「心の病をもつ人との接し方」	広島市精神保健福祉センター 職員
第3回 (体験)	2月10日(金) 10:00~15:00 ----- 2月17日(金) 10:00~15:00	いずれか1日をソーシャルクラブで体験 ※時間変更あり	
第4回	2月22日(水) 10:00~12:00	まとめ・交流会	ラッコの会 西保健センター 西区社会福祉協議会

場 所 西区地域福祉センター（福島町2-24-1）  
 対象者 精神保健福祉ボランティアに関心のある方  
 定 員 20名(定員になり次第締切)  
 参加費 無料  
 共 催 やさしい手ボランティア『ラッコの会』  
 西保健センター  
 西区社会福祉協議会



### お知らせ

#### ◆2012 マーガレットコンサート

～障がい者と広島交響楽団とのジョイントコンサート～

**と き** 2012年2月12日(日)

開場 14:00 開演 15:00 終演予定 16:30

**と ころ** 広島国際会議場フェニックスホール

**入 場 料** 前売 自由席大人 1,500円、高校生以下 800円  
 指定席 1,800円  
 当日 自由席大人 1,800円 高校生以下 1,000円  
 指定席 2,000円

**その他** 手話・要約筆記つき  
 演奏者や客席にも障がいのある方がおられます。  
 どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

**主 催** 広島市（主管：広島ふれあい委員会）

**お問合せ**：広島市役所障害福祉課 Tel 504-2147  
 Fax 504-2256

#### ボランティア活動中、お邪魔しまーす！

去る12月24日(土)よかよか倶楽部のメンバー4名に同行し、井口にある高齢者施設のクリスマス会に参加。手作りプレゼントつき紙風船割り(抽選券入り)や、『憧れのハワイ航路』『ふるさと』を振付で歌い、入所者の皆さんと楽しいひと時を過ごさせていただきました。

よかよか倶楽部の皆さんが入所者一人ひとりの表情を見ながら活動されている姿は、できるだけ相手に寄り添おうという思いの現われそのもの。まさに“ボランティアの心”をしっかりとって活動されていると実感しました。

みぞれの降日でしたが、入所者の皆さんは温かな心でつまれたのではないのでしょうか。



当日の様子

この広報紙のすべての問合せ及び申込  
 広島市西区社会福祉協議会 則信/原田  
 Tel294-0104 Fax291-7096

